

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和5年1月19日（木）13時30分から15時00分まで
参加者	委員：18人 事務局：1人 その他：14人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：3人、天竜協働センター：1人、蒲協働センター：1人、包括支援センターあんま：3人、浜松市社協：2人、関係機関2人）
場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 前回の振り返り及び第2回の進め方について】 ・前回の振り返り及び今回の進め方について説明。</p> <p>3 関係機関から情報提供</p> <p>①移動販売（とくし丸）の事業説明について 杏林堂 移動スーパーとくし丸 課長 中村 謙吾様より説明</p> <p>入会費や会費は無い。事業維持費として1品あたり商品の金額に対して20円価格を上乗せしている。 商品は400種類あり、1300～1400品目を積んでいる。1か所に週1～2回訪問している。あんま圏域の訪問先は、安間町、和田町、子安町、中野町、将監町、大蒲町、篠ヶ瀬町等に訪問している。</p> <p>※補足として事務局より、浜北区、東区の移動販売の様子を説明する。</p> <p>②そんぼの家「こども食堂」について そんぼの家 浜松 ホーム長 天野 真義様より説明 昨年子ども食堂を開始。これまで2回開催した。まだ職員の繋がりや声掛けして小規模で行っている状態。今後、地域で認知され活動を続けていけるようにしたい。</p> <p>4 意見交換会 地区ごとのテーマについて意見交換を行う。</p> <p>【中ノ町】 買い物支援の計画及び他の支援について</p> <p>【蒲】 担い手募集のこれからの取り組みについて</p> <p>【和田】 集いの場所（居場所）・移動販売について</p>

5 各地区からの報告
地区ごとに話し合った内容について報告。

中ノ町地区

- ・遠鉄ストアが白鳥町に来ている。移動スーパーで喜んでもらえるなら活用してもよいのではないか。
- ・移動販売は商品に限りがある。長鶴の郷で買い物ツアーを実施してくれるのならそれがよい。
- ・長鶴の郷だけでなく、SONPOでも買い物ツアーに協力してくれないか。
- ・付き添い支援の検討。→困っている人の移動支援をどうするか？
- ・次回は中ノ町地区のどこに移動販売が来ているのかマップにおとしてみる。

蒲地区

- ・蒲協働センターまつりでチラシを配布。2名の方から問い合わせがあった。
- ・例えば、防災隊などの自治会活動もそうだが、反応があまりなくてもPRし続けることはとても大切であり、継続は力になる。
- ・学校のPTAなど若い世代への周知やアンケートを取ることも一つの方法ではないか。
- ・地区社協の活動を知らない人もいるので、ぬくもり（家事支援）の活動を民生委員に知らせていきたい。
- ・チラシのほかにも担い手募集の方法がないか検討していく。

和田地区

- ・杏林堂とくし丸について、営業は月～土曜日、1箇所の訪問で2万円程度の売り上げがあるのが実情。およそ30分程度滞在する。他地区では買い物支援員がいる所もある。
- ・おためしの1回みの利用も可能。土曜日の午後が受けやすい（現時点）
- ・自治会役員会において、各地区自治会長へ移動販売について情報提供し、お試し利用につなげることを検討していただく。
- ・集いの場所との連携による相乗効果を期待する。

6 副会長挨拶

今後の見通し等

- ・中ノ町地区は、次回に向けて、移動販売の拠点等の情報を収集しておく。
- ・和田地区は、移動販売（とくし丸）の利用に向けて自治会等で情報提供される予定であるため、杏林堂の担当者とも連携していけるように調整しておく。